

2018年7月30日

## 2018年7月開始のTV番組に美術協力

株式会社ニチベイ（本社：東京都中央区、社長：福岡勇之輔）は、以下のTV番組におきまして美術協力として商品提供を行っています。

### ◆絶対零度～未然犯罪潜入捜査～

メディア：フジテレビ系列

放送日時：7月9日スタート 毎週月曜日 21：00～

協力商品：【警視庁総務部資料課分室セット】

よこ型ブラインド「ユニーク25」色柄：V1006（リリーホワイト）

公式サイト：<https://www.fujitv.co.jp/zettaireido/>

#### 【ストーリー】

井沢範人は、ひょうひょうとしてつかみどころのない印象を周りに与える人物ながら、実は元公安のエリート刑事。ある事件を起こしたことをきっかけに公安から、総務部・資料課に室長として転属。“警視庁の吹きだまり”ともいうべき資料課だが、実は秘密裏に進められている、ある重要なプロジェクトの任務を託されている。資料課に課せられたミッションは“未然犯罪捜査チーム＝ミハン”として、“ミハンシステム”の割り出した、未来の危険人物が起こすかもしれない重大犯罪（主に殺人）を阻止すること。データが示すのは危険人物の名前だけで、何が起こるかは分からず、いつ、どこで、誰が、なぜ、殺されようとしているのか？それらのことを潜入捜査しながら突き止めていく。しかし、現時点でこのような捜査は違法捜査。表向きは総務部・資料課として活動しており、警察内でも彼らの存在は秘密。潜入捜査あり、アクションあり、エンターテインメント要素をふんだんに詰め込みながら、予想もつかない展開の連続で見る者の心をつかむ。



## ◆健康で文化的な最低限度の生活

メディア：フジテレビ系列

放送日時：7月17日スタート 毎週火曜日 21:00～

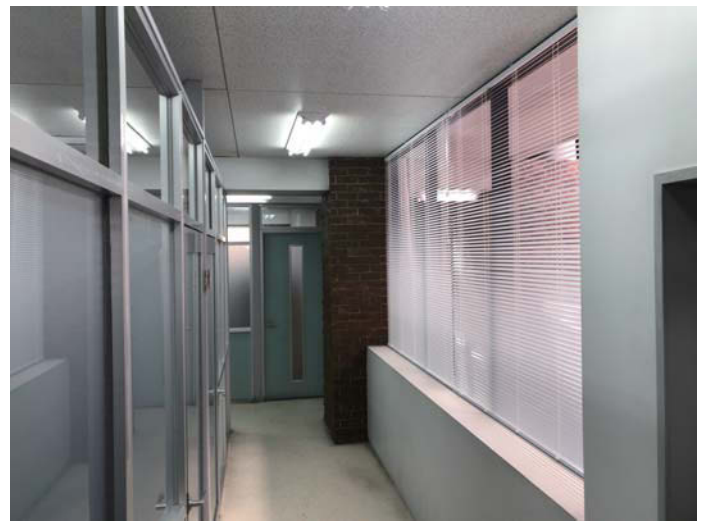
協力商品：【区役所オフィスセット】

よこ型ブラインド「ポラブラインド」色柄：PV235（ピュワホワイト）

公式サイト：<https://www.ktv.jp/kbss/>

### 【ストーリー】

22歳の新人が、壁にぶつかり、喜び、悲しみ、時には怒り…そしていつしか、誰かの希望の光になっていく…！  
描かれるのは、お金、健康、仕事、家族…と誰にとっても身近なテーマ。そんな色とりどりの人生模様を、生活保護現場を舞台に、時に明るく、時に切なく描くヒューマンお仕事ドラマ。原作は「このマンガがすごい!2015」のオトコ部門で第10位を獲得。「生活保護」のリアルな実態に切り込み、メディアのみならず、現役ケースワーカーや医療、福祉の現場からも高い評価を受ける注目作。



## ◆ハゲタカ

メディア：テレビ朝日系列

放送日時：7月19日スタート 毎週木曜日 21:00～

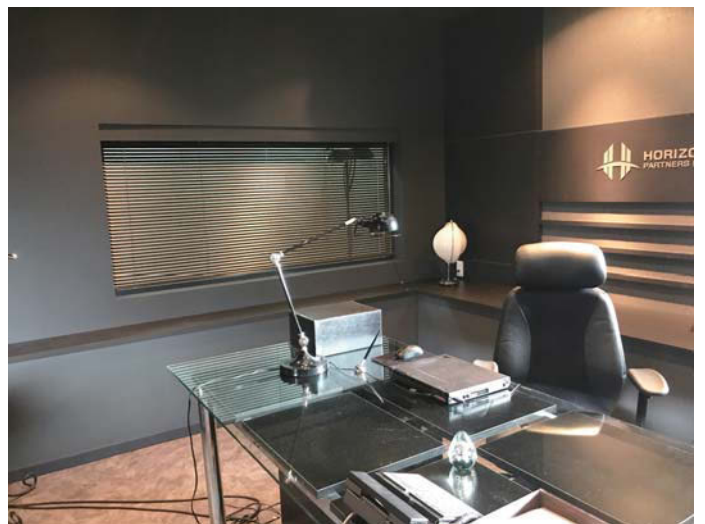
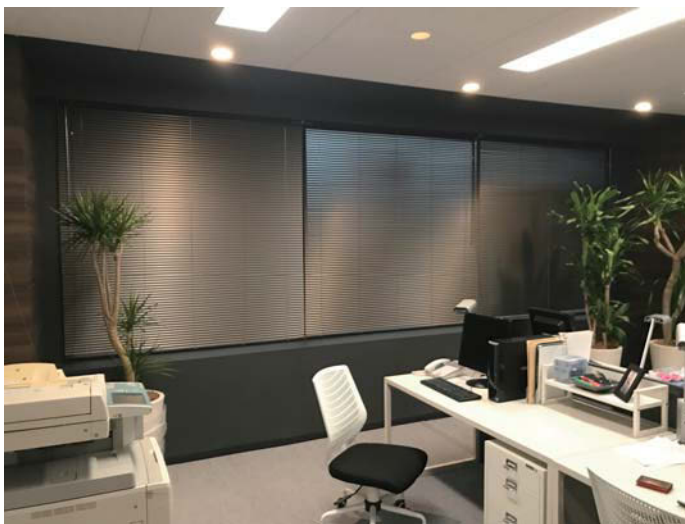
協力商品：【外資投資会社オフィスセット】

よこ型ブラインド「ユニーク 25」色柄：V1100（ガンメタリック）, V1003（アッシュグレイ）

公式サイト：<http://www.tv-asahi.co.jp/hagetaka/>

### 【ストーリー】

2004年に刊行された真山仁氏の小説『ハゲタカ』。バブル崩壊後の1997年、“失われた10年”の渦中にあった日本に突如として現れた外資系投資ファンド代表の鷺津政彦―“ハゲタカ”と激しいバッシングを受けながらも、不良債権を抱えた“大銀行”や経営不振の“名門企業”へ次々と買収劇を仕掛け、鮮やかに勝利していく様を描いた同作は、サラリーマンたちから圧倒的な支持を集め、ベストセラーとなった。さらには、『買収のスペシャリスト』として、対象企業を誰よりも徹底的に調べ上げ、丸裸にし、闘いに挑む―そんな圧倒的なカリスマ性で突き進んでいくダークヒーロー・鷺津の姿は、男性だけでなく、多くの女性たちをも虜にした。その『ハゲタカ』がこの夏、連続ドラマとなってテレビ朝日の木曜夜9時に降り立つ。「最強の企業買収者」と日本を震撼させた男が、腐敗した企業、そして日本経済界へ大胆に、そして痛快にメスを入れ、次々と革命を起こしていく―2018年7月にいよいよ開幕する“鷺津”劇場は、権力に立ち向かうひとりの男の姿を描く、爽快感たっぷりのエンターテインメント。





メディア：テレビ朝日系列

放送日時：7月27日スタート 毎週金曜日 23：15～

協力商品：【法律事務所セット】

ウッドブラインド「クレール35」色柄：K108（オーク）

たて型ブラインド「アルペジオ」色柄：A7892（ライトサンド）

公式サイト：<http://dele.life/>

### 【ストーリー】

本作の主人公・坂上圭司と真柴祐太郎が生業とするのは、クライアントの依頼を受け、死後に不都合なデジタル記録をすべて“内密に”抹消する仕事。しかし、2人は任務を遂行しようとするたび、様々な問題に巻き込まれ、クライアントの人生とそこに隠された真相をひも解かねばならぬ状況へ追い込まれていくことに…。

そう、本作が扱うのはほかでもない、《日本ドラマ史上初の題材》にして《今もっともタイムリーな題材》＝「デジタル遺品」だ。デジタルデバイスに個人の人となり詳細に残ってしまう現代。誰もが一度は、こう考えたことがあるのではないだろうか。「自分が突然死んでしまったとき、誰にも見られたくないデータは一体どう処理したらいいのか」と――。そんな、すべての人にとって大きな懸念材料となっている題材を基盤に、『dele』は多彩な人間ドラマを1話完結型形式で創出していく。

